

週刊大貫のり夫 市政ファイル No.526



日本共産党横浜市議員大貫のり夫議会報告

発行日：2016年6月1日（水）

事務所：〒227-0061 横浜市青葉区桜台29-6

オバマ米大統領の広島訪問を機に

平和推進事業の推進を

横浜市議会：北谷まり議員が一般質問

伊勢志摩サミットに出席したオバマ米大統領が5月27日、アメリカ大統領として初めて被爆地・広

島市の平和記念公園を訪問しました。原爆を投下した核超大国の現職大統領が、爆心地の公園に足を運び、被爆者らを前に、「核兵器なき世界を追求」と演説したことは、歴史的な一歩です。

北谷まり議員は5月27日の一般質問で、オバマ米大統領の広島訪問を機に、横浜市の平和推進事業をもっと推進するよう、林市長に求めました。（2面に続く）

主な神奈川県内都市の非核・平和関連予算
(2015年度)

市名	平和関連事業	予算額
横浜市	国際平和推進事業	271,000円
川崎市	平和啓発事業 平和館運営	2,130,000円 78,305,000円
相模原市	平和思想普及啓発事業	3,550,000円
藤沢市	平和都市宣言推進事業	14,261,000円
平塚市	平和意識普及・啓発事業	2,107,000円
茅ヶ崎市	平和事業	2,710,000円

無料法律相談

6/16(木)

予約制（大貫）
090-5311-1879

横浜市の平和関連事業費はわずか27万円

(1面より)

横浜市議会は1970年12月に平和都市宣言、1984年10月に非核兵器平和都市宣言を決議しています。しかし、2015年度の横浜市の平和推進事業予算は約27万円とわずか。一方、神奈川県内自治体の平和関連事業費は、川崎市が平和館運営だけで約8,000万円、相模原市が355万円、藤沢市が1.430万円など、横浜市とは桁が違います。

平和事業に3つの提案

北谷まり議員は5月27日の一般質問で、平和都市宣言に忠実に従い発展させることが市長の責務だが、平和推進事業費は他都市とくらべても少ないと指摘。米大統領の歴史的な広島訪問を機に、横浜市はこれまで貧弱だった非核・平和推進事業に本腰を入れて取り組むべきと主張しました。

その上で、全国で300余りの自治体が加入している日本非核宣言自治体協議会へ加盟すること、市の庁舎に非核平和宣言都市のポールを立てるなどで市の姿勢を市民が認識できるようにすること、平和啓発事業や平和推進事業を積極的、多面的に展開することを提案しました。



一般質問を行う北谷まり議員
5月27日、横浜市本会議場

日本非核宣言自治体協議会

会員自治体数319

(2016年4月現在)

神奈川県内の会員自治体：神奈川県、川崎市、鎌倉市、藤沢市、逗子市、相模原市、秦野市、平塚市、大和市、大磯町、湯河原町

林市長は、今回の米国大統領の広島訪問は核兵器のない世界の実現に向けて大変意義があり、横浜市は今後もピースメッセンジャー、平和市長会議の一員として、国際平和の実現に向けて取り組みを進めると答えるにとどまりました。

北谷議員は一般質問で、米軍住宅建設計画、熊本地震を踏まえた本市の防災対策事業、学校における発達障害児への対応、北綱島特別支援学校の存続についても質問しました。



ちょっと法律の話とか（21）

熊本地震の義援金を差し押えてはいけない！

まなぎいすたろう
弁護士 馬奈木 厳太郎

5月27日、熊本地震での被災者に届けられる義援金について、金融機関に借金がある場合でも差し押さえられないようにするための法律が、参議院本会議において、全会一致で可決、成立しました。義援金の趣旨からして、被災者自らが使えるようにするため差し押さえは禁止されるべきであるとの考えに基づくもので、すでに衆議院を全会一致で通過していました。

この法律は、熊本地震の被災者に届けられる義援金を、金融機関に借金がある場合でも被災者が確実に受け取り、生活再建を後押しするためのもので、被災者の受け取る権利を保護することを目的としています。

具体的には、被災者が受け取った義援金を差し押さえることや、義援金を受け取る権利を他人に譲り渡したり、担保にしたりすることを禁止するもので、法律の施行前に受け取った義援金にも遡って適用し、禁止の対象にするとされています。同法は、近く公布、施行されますが、熊本地震に関連して都道府県や市町村が交付した義援金が対象となります。

同様の法律は、5年前の東日本大震災の際にも成立しています。ただ、現状は災害のたびに個々に対応し、



市役所の前のくすのき広場の花壇が賑やかだ。色とりどり花が咲いている。中でも白百合が凛としていた。白百合の花言葉は「威厳」「向く」「純潔」だ。

その都度法律を成立させるという運用になっています。むしろ、「震災大国」とも言われているわけですから、速やかに恒久的な制度に改めるべきだと思われます。

熊本県によれば、一連の地震で県に寄せられた義援金は、日本赤十字社や共同募金会を通じて寄せられた分も含め、すでに104億円を上まわっています。これらの義援金は、地震で家族が亡くなった場合や自宅が壊れた場合など、被害の程度に応じて、市町村から被災者に配分されることになっています。

今回の法律の制定が、被災者の方々の生活再建に少しでも役立つことを願っています。



おおのり豆電球

憎っくき夜盗虫

3月に苗を植え付けたキャベツが葉を捲き始めた。家庭菜園仲間のKさんから分けてもらった苗だ。

去年は防虫ネットを張るのが遅すぎた結果、すでに卵が産み付けられていた青虫の食欲で、わがキャベツたちは、気がついたら餅網筋衛門になってしまっていた。

そこで今回、その貴重な経験を踏まえ、苗を植えたと同時に防虫ネットをかけた。これで安心。あとは成長を待つて無農薬のおいしいキャベツを食卓にあげることができると思てやまなかった。

先日、ひさしぶりに夕飯前に帰宅した際、妻から「今晚の献立はとんかつ。キャベツ、庭からとってきて」と声がかかった。いよいよ「食するか!」と菜っきり包丁を片手に勇んで収穫。ところが、



葉を一枚剥いたら写真の虫が、青黒い糞をまき散らし、ぱっと明るくなったのに驚いている。バサッと包丁でキャベツを切ったら、出てくる出てくる。

インターネットで調べたら夜盗虫。昼は地中で昼寝、夜、作物を食い荒らす憎っくき虫だ。夜盗虫とはよく言ったものだ。これから朝30分早く起き、ピンセット片手に夜盗虫との戦いだ。どうも、この戦い、こちらが白旗あげそうだ。



メダカの独り言 先日、やっと我が家の衣替えが終わった。と言っても夏服は年中着ているので、冬服をしまっただけ。でもそんな簡単な作業なのに面倒くさかって後回しに。この度やっと休眠に。防虫剤と一緒にバットの底へ。また冬にね。(K)